

# ワンライズ、ヤード開設

## 西川健商店と協業体制

兵庫・たつの

レアメタル・非鉄スクラップ事業および金属リサイクル向けデジタルコンテンツ「Metal Live (メタルライブ)」の運営を手掛けるONE LIVE(ワンライズ)、兵庫県尼崎市、百井一貴社長は、このほど、兵庫県たつの市に「たつのヤード」を開設した。同社のヤード開設は初。市場環境に合わせたストック、入出荷能力を高め業務の拡大に対応し、扱い数量を2023年度(24年11月期)にも30%アップする目標を掲げるとともに、実質的なヤードオペレーターを通じてメタルライブの機能の洗練にもつなげる考えだ。

### デジタルツールとシナジー

たつのヤードは、たつ日にオープンした。敷地0平方メートルの中を階付きの市神岡町沢田109。地面積は1070平方メートル、工場と平屋事務所を構成する。この工場は金

属リサイクル事業で協業する西川健商店(兵庫県たつの市神岡町、西川功一社長)の第二工場を居抜きで賃貸したもので、アリのゲータ

ーシャや重機、3基の2・8トン天井クレーンなどの設備は必要に応じて相互に使用する。同社はかねてより、スクラップについては需要家への直送を主にしながら一部スクラップの保管や荷降ろしなどを西川健商店の本社を含めたヤードを使用させてもらう一方、汚

泥・スラッジからのレアメタル回収や特金スクラップに関する機品などのノウハウを共有する協業体制を敷いており、たつのヤードの開設はその発展形となる。

また同社は今後、より現場作業を伴うヤード実務をすることで、ユーザーの声をみながら、自ら現物を扱うことでこの事業の課題点などを洗い出しメタルライブで改善、効率化する(百井社長)考え。ヤード作業全般で協力する西川健商店との密な人的交流などで、経営資源をシェアしながら互いにノウハウを蓄積し成長につなげていくスタイルは、当社が志向するデジタルツールの目指すところと合致する(同)ことで、今回のヤード開設を現物販売とシステム開発を両輪として事業拡充する契機としていく。



たつのヤード外観(上) 工場内観(下)